

題材名 『よりよい家庭学習の仕方を考えよう』 (第1学年) 学級活動 内容 (3)

本時のねらい

話し合い活動を基に自己の家庭学習を見つめ直すことを通して、主体的に家庭学習に取り組むことができるようにする。

題材構想の意図

本題材では、自己の家庭学習を見つめ直し、主体的に家庭学習に取り組むことができるようにするための話し合いを行います。事前の活動では、家庭学習についての事前アンケートを行い、生徒がどのような点に課題を感じているか現状把握を行います。本時の活動では、事前アンケートを踏まえて、どうすれば家庭学習がよりよくなるのかを小グループや学級全体で話し合い、自己の目標を決定します。事後の活動では、その自己の目標の実践と振り返りを行い、将来を見据えて実践できるように構成しました。

過程

主な学習活動

事前アンケートを行い、課題を見付けさせる

家庭学習に関連する事前アンケートを行う。家庭学習について感じている課題点や、家庭学習ノートへの取組状況などを考え、一人一人が現状を知ることができるようにする。

学級全体の傾向をつかませる

アンケートを集約し、「家庭学習ノートの有効な活用方法が分からない」「家庭学習の進め方がよく分からない」などの学級全体の傾向をつかませる。

計画委員と相談し、学びの見通しをもたせる

朝の時間・昼休み・給食の時間など、短時間を有効に活用して、計画委員と本時の進め方を相談する。その際、本時の進行の目安となる活動計画表を作成させる。

事前アンケートを基に主体的に話し合う意欲を高める

本時の導入において、計画委員や教師が事前アンケートなどに基づいた課題を伝えることで、学級全体で課題に関する共通認識をもたせる。よりよい家庭学習の実践に向けては、自己の目標が必要であるということを学級全体で確認し、話し合う意欲を高める。

小グループや学級全体で話し合い、考えを深めさせる

各自の考えをもたせた上で、小グループによる話し合いで解決方法を考えさせる。家庭学習ノートや時間の使い方など、家庭学習の方法について話し合わせる。ホワイトボードを用いて話し合わせ、「おすすめ勉強法」として学級全体で確認できるようにする。

話し合いを踏まえ自己の目標を決定する深い学びにつなげる

小グループや学級全体での話し合いを踏まえて、自己の目標をワークシートに記入させる。教師は本当に実践が可能かどうかと投げ掛けることで、その目標が適切であるかどうか生徒に判断させる。

目標に向けて実践することができるようにする

個人で立てた目標の実現に向け、実践を行っていきけるようにする。教師は、事後の活動で家庭学習ノートの取組具合などを見ることで、生徒が自己の目標に向けて頑張っているか、声掛けをしたり、見守ったりしていく。

実践の振り返りを行わせる

実践を行って一定期間経過した後、振り返り活動を行わせる。ワークシートに個人で立てた目標が実現できているかどうかを振り返らせる。成果を評価し、課題は改善できるように伝えるなど、将来を見据えて実践させる。

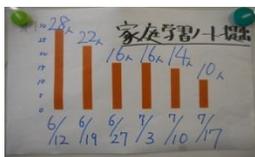
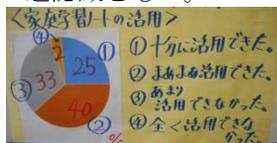
事前の活動

1. 学級の現状を把握する

- 計画委員が家庭学習に関する事前アンケートを行い、集約する。
- 事前アンケートから見られた、学級全体の傾向をつかむ。
- 計画委員と教師が、本時の進め方の相談を行う。その際、活動計画表を作成することで本時の見通しをもつ。

2. よりよい家庭学習の進め方について話し合い、主体的に取り組めるような個人目標を決定する

- 事前アンケートを基に、学級全体で課題に対する共通認識をもつ。



- 題材のめあてをつかむ。

主体的に家庭学習に取り組めるように、自分の目標を考えよう。

- ワークシートを活用し、個人で解決策をさぐる。
- 各グループの話し合いでは、「質問タイム」を設け、分からないことを班のメンバーに聞くなどして、自分にあった家庭学習の方法を見つける。
- 学級全体の話し合いでは、グループでの話し合いを踏まえて、「おすすめの勉強法」を紹介する。
- 自己の目標を決定する。

(個人目標の例)  
家庭学習ノートに自分で量を決めて行っていきます。



本時の活動

3. 決めたことを実践し、振り返る

- 自己の目標の実現に向け、実践を行う。
- ワークシートを活用し、実践を振り返る。

(振り返りの例)  
家庭学習としてワークの問題を行っています。これからも続けていきたいです。

事後の活動

K：計画委員 S：生徒 T：教師

指導のポイント

指導例：『よりよい家庭学習の仕方を考えよう』（第1学年）

1 問題を把握し、話し合いのめあてをもつ。

**つかむ**

○計画委員が本時の題材・めあて・提案理由などを伝え、学級全体で課題をつかむ。

K：題材は「よりよい家庭学習の仕方を考えよう」です。提案理由は「家庭学習の進め方がよく分からない人が多いから」です。

○家庭学習についての事前アンケートの集計や家庭学習ノートの提出の様子から、学級の現状を把握する。

K：事前アンケートでは学級の3分の2の人が家庭学習ノートを活用していると回答しました。

T：家庭学習ノートの提出は日を追うごとに減少していますね。



めあて 主体的な家庭学習をするために自分の目標を考えよう。

2 よりよい家庭学習の仕方について話し合う。

**さぐる**

○ワークシートを活用し個人で改善策をさぐる。その後、ワークシートを基に、グループで自分の考えを発表する。

S：家庭学習をする時間や内容を決めてやるとよいと思います。

**見つける**

○グループで質問タイムを設けるなど、勉強法について疑問や不安に思っていることを聞いたり、話し合ったりして、必要感に沿いながら自分に合った勉強法を見付ける。

S：どうしたら家庭学習ノートに積極的に取り組めますか。

S：ワークや授業のノートを参考に、取り組んだらどうでしょうか。

○各グループの「おすすめ勉強法」をまとめ、全体で紹介する。学級全体で見られた課題点については、質問したり話し合ったりして考えを深める。

S：私たちの班は家庭学習ノートにワークの問題をもう一度やったらよいと考えました。

○実施可能か再度考える。

T：その目標は継続してできますか。よく考えて目標を立てましょう。



3 個人の目標を決める。

**決める**

○話し合い活動を経て、自分が今後どのように家庭学習に取り組んでいきたいかを意思決定し、目標を決める。

S：家庭学習ノートを活用し、量を決めてやっていきたい。

S：空いている時間に少しずつ短時間でもやっていきたい。

○家庭学習の一例としての家庭学習ノートの具体例を知る。

T：クラスの生徒の家庭学習ノートです。参考にしてみてください。

事前アンケートを基に、主体的に話し合う意欲を高める

○事前アンケートから見られる共通の課題を掲示し、学級全体で捉えることができるようにする。よりよい家庭学習の実践に向けては、自己の目標が必要であるという題材設定の理由を確認し、話し合う意欲を高める。

小グループや学級全体での話し合いによって考えを深めさせる

○各自がもっている課題を踏まえ、小グループで話し合いを行う。ホワイトボードを用いながら質問などをして解決策を考えることができるようにする。そして、グループで話し合った内容を全体で「おすすめ勉強法」として紹介させる。

生徒が再考する場を設ける

○具体的な解決策を考える中で、今の生活を踏まえた上で、実現可能か再考する場を設ける。生徒をゆさぶる質問を通して、より適切な目標設定へとつなげる。

自己の目標を決定させる

○話し合ったことを踏まえて、ワークシートに個人の目標を決定して記入させる。その目標は一定期間の実施後、振り返りを行い、達成度を確かめることができるようにする。

# 学級活動学習指導案

平成30年9月 第1学年 指導者 細谷 昌弘

**I 題材名** 「よりよい家庭学習の仕方を考えよう」

## II 学習指導要領上の位置付け

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 社会生活，職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用  
現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ること。

## III 目標

ア (知識及び技能)

友達と協力し、よりよい家庭学習の実現に向けて必要なことを理解させ、その実現に向けた話合いの進め方や意思決定の方法を理解できるようにする。また、現在の学習が将来の社会・職業生活の基盤になることを理解できるようにする。

イ (思考力、判断力、表現力等)

自己を見つめ、これまでの活動を振り返りながら家庭学習の目標を立て、それに向けて新たな学習に取り組むことができるようにする。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

自己実現を目指した努力と改善を積み重ね、生涯にわたって学び続けようとする態度を養えるようにする。

**IV 指導計画** ※別紙参照

## V 本時の展開

- ねらい 話し合い活動を基に自己の家庭学習を見つめ直すことを通して、主体的に家庭学習に取り組むことができるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子どもの意識
<p>1 問題を把握し、話し合いのめあてをもつ。</p> <p><b>つかむ</b>（5分）</p> <p>○計画委員が本時の題材・めあて・提案理由などを伝え、学級全体で課題をつかませる。</p> <p>○事前アンケートの集計や家庭学習ノートの提出の様子から、学級の現状を把握させる。</p> <p>めあて 主体的に家庭学習に取り組めるように、自分の目標を考えよう</p>			
<p>2 よりよい家庭学習の仕方について話し合う。</p> <p><b>さぐる</b>（15分）</p> <p>○ワークシートを活用し個人で改善策をさぐらせる。その後、ワークシートを基に、グループで自分の考えを発表させる。</p>			
<p><b>見つける</b>（20分）</p> <p>○グループで質問タイムを設けるなど、勉強法について疑問や不安に思っていることを聞いたり、話し合ったりして、必要感に沿いながら自分に合った勉強法を見付けさせる。</p> <p>○各グループの「おすすめ勉強法」をまとめ、全体で紹介させる。学級全体で見られた課題点については、質問したり話し合ったりして考えを深めさせる。</p> <p>○生徒に実施可能か再度考えさせるような投げ掛けをする。</p>			
<p>3 個人の目標を決める。【意思決定】</p> <p><b>決める</b>（10分）</p> <p>○話し合い活動を経て、自分が今後どのように家庭学習に取り組んでいきたいかを意思決定し、目標を決めさせる。</p> <p>話し合ったことを生かして、何をどのように、どの程度家庭学習で取り組むのかについて具体的な目標を書いている。（思考・判断・表現）【ワークシート】</p> <p>○家庭学習の一例として、一生懸命に取り組んでいる生徒の家庭学習ノートを紹介する。</p> <p>☆毎日家庭学習ノートに、英語の単語練習を3ページやりたい。</p>			

過程	基本的な学習活動 ◇学級全体 ◆計画委員	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善のポイント	◎目指す生徒の姿(観点) 【評価方法】
事前の活動	<b>1 問題の発見・確認</b> ◇題材について知る。 年間指導計画を踏まえ、題材を知る。 ◆問題の確認する。 家庭学習についての事前アンケートを行う。 ◆共通の課題を設定する。 家庭学習についての課題を設定する。 ◆活動計画を作成する。 教師と計画委員が相談し、活動計画表を作成する。 ◇問題意識を高める。 学級活動コーナーの掲示物から話し合う内容を知る。	○年間指導計画を踏まえ、生徒が共通に解決すべき題材を設定する。 ○事前アンケートを行い、家庭学習に関する生徒の実態や問題を確認させる。 ○家庭学習ノートの取組が不十分など、事前アンケートから見られた学級全体の共通の課題を設定させる。 ○計画委員と教師が、本時の進め方の相談を行う。その際、活動計画表を作成し、本時の見通しをもたせる。 ○学級活動コーナーに話合いの題材や活動計画表を掲示することで、問題意識を学級全体で高めていく。	◎よりよい家庭学習の実現に向けた話合いの進め方や意思決定の方法を理解できる。(知識・技能) 【活動計画表・観察】
本時の活動	<b>2 課題解決等の話合い</b> ◇課題を把握する。 事前アンケートを基に学級全体の課題を把握する。 ◇原因を追求する。 課題についての原因を話し合いにより追求する。 ◇解決方法を見付ける。 グループで話し合い、解決方法を見付ける。 <hr/> <b>3 解決方法の決定</b> ◇個人目標を決定する。 今後取り組んでいく個人目標を決定する。	○事前アンケートの集計結果を掲示し、家庭学習について学級共通の課題を把握させ、主体的に話し合う意欲を高める。 ○学級での共通の課題について、ワークシートを活用し個人で改善策をさぐらせる。 ○各グループの話合いでは、「質問タイム」を設け、分からないことを班のメンバーに聞くなどして、自分にあった家庭学習の方法を見付けさせる。 ○グループでの話し合いを踏まえ、「おすすめの勉強法」を学級全体で紹介させる。 ○実現が可能かどうか投げ掛けをする。 <hr/> ○話し合い活動を踏まえて、家庭学習ノートに今後どのように取り組み、また活用していきたいかについて、自分の目標を決定させる。	◎話し合ったことを生かして、何をどのようにどの程度家庭学習で取り組むのかについて、具体的な目標を書いている。(思考・判断・表現)【ワークシート】
事後の活動	<b>4 決めたことの実践</b> ◇粘り強く実践する。 一人一人の目標に沿って粘り強く実践していく。 <hr/> <b>5 振り返り</b> ◇定期的に振り返る。 目標の実現を目指しているか、定期的に自己の実践を振り返る活動を行う。	○生徒が意思決定した目標の実現に向けて粘り強く実践していけるよう励ます。 <hr/> ○ワークシート・家庭学習ノートなどを用いて振り返りを行わせる。生徒が自己の目標に向け実践してきたことを振り返り、成果と課題を見付けることで、今後の学習への意欲付けを行う。	◎自己目標を目指した努力を積み重ね、今後も学び続けようとする。(主体的に取り組む態度)【観察・家庭学習ノート】